

宮城県・仙台市教員採用試験

教養試験

令和6年度(2023年実施)

第1問 令和5年4月1日に発足した子ども家庭庁がつかさどる事務として誤りを含むものを、次の1～4のうちから1つ選びなさい。

- 1 子どもの保育及び養護
- 2 子どもの虐待の防止
- 3 学校教育の振興
- 4 いじめの防止等に関する相談の体制など地域における体制の整備

第2問 「第3期スポーツ基本計画」(令和4年3月25日スポーツ庁)において、学校や地域における子供・若者のスポーツ機会の充実と体力の向上を目指すための具体的施策の説明として誤りを含むものを、次の1～4の中から1つ選びなさい。

- 1 中学校等の部活動の運営主体を学校から地域に着実に移行する。
- 2 幼児期からの運動習慣を形成するため、保護者等の生活習慣の改善を促す。
- 3 教員研修、指導の手引き、ICT活用を通じて体育・保健体育授業の充実を図る。
- 4 総合型クラブの育成や学校開放を推進し、地域スポーツ環境の整備充実を図る。

第3問 次の文章は、教員免許更新制に関する規定を廃止した経緯や背景を文部科学省が示したものである。文章中の(a)、(b)に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、あとの1～4のうちから一つ選びなさい。

近年、社会の変化が早まり、非連続化するとともに、オンライン研修の拡大や平成28年の(a)の改正による研修の体系化の進展など教師の研修を取り巻く環境が大きく変化している中で、今後ますます個別最適な学びや「現場の体験」を重視した学びなどを進めることが必要となる。

現状の免許更新制は、10年に1度講習の受講を求めるものであるが、常に教師が最新の知識技能を学び続けていくことと整合的ではない。また、免許状更新講習は共通に求められる内容を中心としており、個別最適な学びなど今後求められる学びの姿とは方向性が異なっている。

よって、(b)の一部を改正し、教員免許更新制を廃止する。

- | | |
|--------------|------------|
| 1 a 教育基本法 | b 教育職員免許法 |
| 2 a 教育職員免許法 | b 教育公務員特例法 |
| 3 a 教育公務員特例法 | b 教育基本法 |
| 4 a 教育公務員特例法 | b 教育職員免許法 |

第4問 「生徒指導提要」(令和4年12月改訂文部科学省)で校則の運用・見直しについての説明として誤りを含むものを、次の1～4のうちから一つ選びなさい。

- 1 校則に基づく指導に当たっては、校則を守らせることばかりにこだわらず、何のために設けた決まりであるのか児童生徒が理解できるよう指導することが望まれる。
- 2 校則に違反した場合には、内省を促すことまではせず、行為を正すことに目的を焦点化して指導することが望まれる
- 3 校則の見直しをする場合には、児童生徒や保護者などと確認したり議論したりする機会を設けて進めていくことが望まれる。
- 4 校則を策定したり、見直したりする場合には、どのような手続きを踏むことになるのか、その過程について示しておくことが望まれる。

第5問 次に示す四字熟語について、(a)～(d)には数字が入る。(a)～(d)に入る数をすべて足したとき、その答えとして正しいものを、あとの1～6のうちから1つ選びなさい。

三寒 (a) 温	岡目 (b) 目	十人 (c) 色	千載 (d) 遇		
1 12	2 16	3 23	4 115	5 112	6 1114

第6問 次の文章を読んで、下線部における久兵衛のなつめに対する思いを説明したものとして最も適切なものを、あとの1～4のうちから1つ選びなさい。

※この問題は、著作権の関係により、掲示できません。

【篠 綾子『親子たい焼き 江戸菓子舗照月堂』による】

- 1 一流の菓子職人になるには、才能は一切関係ないにも関わらず、才能のなさに悩んでいるなつめへのいらだちと、それでも悩みを抱えていることに対する哀れみ。
- 2 なつめが悩みを相談したり、自分の気持ちを伝えたりすることが一度もないことに対する怒りと、すでに自立への第一歩を進んでいることへの寂しさ。
- 3 なつめが修行途中で菓子作りから離れることはさせたくないという親心と、修行を続ける中で菓銘の才能を生かしてほしいという期待。
- 4 見習いを始めたばかりで新しい菓子を作り、名前の提案もしたことへの驚きと、様々な道を究めてきたなつめに対して、菓子作りでも大成してほしいという願い。

第7問 次の文章は、緯度と経度について説明したものである。文章中の（ a ）～（ c ）に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、あとの1～4のうちから1つ選びなさい。

地球上の位置は、（ a ）度と（ b ）度を使って表すことができる。

（ a ）度は赤道を0度としている。（ b ）度はイギリスのロンドンにある旧グリニッジ天文台を通る本初子午線を0度としている。

日本標準時は兵庫県の明石市を通る東（ c ）135度の（ b ）線を基準としているため、イギリスと日本の標準時に基づく時差は（ c ）である。

- | | | | |
|---|-----|-----|--------|
| 1 | a 緯 | b 経 | c 9時間 |
| 2 | a 経 | b 緯 | c 15時間 |
| 3 | a 緯 | b 経 | c 15時間 |
| 4 | a 経 | b 緯 | c 9時間 |

第8問 10%の食塩水 x g と 6%の食塩水 y g を混ぜて、7.2%の食塩水 100g を作った。このとき x と y の値として正しいものを、次の1～4のうちから1つ選びなさい。

- | | |
|---|-----------------|
| 1 | $x=40$ 、 $y=60$ |
| 2 | $x=30$ 、 $y=70$ |
| 3 | $x=70$ 、 $y=30$ |
| 4 | $x=60$ 、 $y=40$ |

第9問 地震についての説明として正しいものを、次の1～4のうちから1つ選びなさい。

- 1 地震が発生すると、地震波の（P波、S波）が伝わっていく。S波を検知した段階で、緊急地震速報が発表される。
- 2 気象庁が独自で作った震度階級を用いて地震の揺れの強さを震度で表している。震度は1～7の7階級で表す。
- 3 マグニチュードの値が1大きくなると地震が持つエネルギーは約32倍になるので、マグニチュードの値が2大きくなると地震が持つエネルギーは約64倍になる。
- 4 日本では地震の揺れの強さを震度で表し、地震そのものの大きさ（規模）をマグニチュードで表す。

第 10 問 次の英文は、日本に留学している外国の学生がスピーチしたものです。その内容として最も適切なものを、あとの 1～4 のうちから 1 つ選びなさい。

I'm going to talk about elementary schools in my country. Students use school buses or walk to school with their families. They eat lunch in a cafeteria. Some of them eat lunch from the school and some eat lunch brought from home. Cleaning staff clean the school. Students don't. The school year starts in September and ends in June.

- 1 Students don't walk to school alone.
- 2 All students eat the same food for lunch.
- 3 Students clean their schools.
- 4 Students have classes in July.

第 11 問 A 群の人名と B 群の説明の組合せとして正しいものを、あとの 1～4 のうちから 1 つ選びなさい。

【A 群】

ア エリクソン イ ヴィゴツキー ウ ローレンツ エ ハヴィガースト

【B 群】

- a ハイイロガンのひなは孵化してから最初に見たものを追うという特徴があることを研究し、それを「刷り込み」と呼んだ。
- b 発達の連続的な変化に着目して区分された段階は発達段階とされている。個人が健全に成長するために、各段階で習得することが必要な課題を「発達課題」と呼んだ。
- c 青年期は「自我アイデンティティの確立」が課題となっていると特徴づけ、自分と社会との両方に向き合い、自分づくりに取り組む重要な時期と位置付けた。
- d 子どもが物事を考える場合に、自分一人で問題解決できる水準と、大人など他者の助けを借りて問題解決できる水準があるとし、この 2 つの水準の間を「発達の最接近領域」と呼んだ。

- | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|
| 1 | ア－b | イ－d | ウ－c | エ－a |
| 2 | ア－c | イ－a | ウ－b | エ－d |
| 3 | ア－c | イ－d | ウ－a | エ－b |
| 4 | ア－b | イ－c | ウ－a | エ－d |

第 12 問 「児童虐待の防止等に関する法律」に示されている内容として最も適切なものを、次の 1～4 のうちから 1 つ選びなさい。なお、ここにおける「児童」とは、18 歳に満たないものをいう。

- 1 児童虐待を受けたと思われる児童を発見したものは、速やかに、市町村、都道府県の設置する福祉事務所若しくは児童相談所に通告しなければならない。
- 2 児童虐待があったと思われる場合、市町村、都道府県の設置する福祉事務所若しくは児童相談所に通告する前に、虐待の事実を必ず保護者に確認しなければならない。
- 3 児童から虐待の相談があった場合、守秘義務により市町村、都道府県の設置する福祉事務所若しくは児童相談所への通告はできないため、速やかに家庭を指導しなければならない。
- 4 児童虐待の事実が市町村、都道府県の設置する福祉事務所若しくは児童相談所からその児童の属する学校に通知された場合、学校は、児童の住所又は居所に立ち入らなければならない。

第 13 問 法令における就学義務に関する規定として誤りを含むものを、次の 1～4 のうちから 1 つ選びなさい。

	法令（年代）	就学義務に関する規定
1	学制（明治 5 年）	教育年限を下等小学校 4 年、上等小学校 4 年の計 8 年とした。
2	教育令（明治 12 年）	義務教育の文言が初めて登場し、義務教育 6 年と規定された。
3	国民学校令（昭和 16 年）	義務教育 8 年と規定されたが、戦時下の特例により高等学校 2 年は終戦まで実現されなかった。
4	教育基本法（昭和 22 年） 学校基本法	義務教育は 9 年と規定された。

第 14 問 次の文は、小学校学習指導要領（平成 29 年告示）、中学校学習指導要領（平成 29 年告示）及び、高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）の一部である。文中の（ a ）に当てはまる語句として正しいものを、あとの 1～4 のうちから 1 つ選びなさい。

第 1 章 総則 第 3 教育課程の実施と学習評価

1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

（4）児童（生徒）が（ a ）する活動を計画的に取り入れるように工夫すること

- 1 学習の内容を理解したり学習したことを応用したり
- 2 学習の内容を理解したり学習したことを振り返ったり
- 3 学習の見通しを立てたり学習したことを応用したり
- 4 学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったり

第 15 問 次の文章は、教育基本法第 4 条「教育の機会均等」記された条文の一部である。文章中の（ a ）～（ c ）に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、あとの 1～4 のうちから 1 つ選びなさい。

すべて国民は、ひとしく、その（ a ）に応じた教育を受ける機会を与えられなければならない。人種、信条、（ b ）、社会的身分、経済的地位又は門地によって、職業上差別されない。

国及び地方公共団体は、障害のあるものが、その障害の状態に応じ、十分な教育を受けられるよう、（ c ）を講じなければならない。

- | | | | |
|---|------|------|------------|
| 1 | a 意思 | b 職業 | c 教育上必要な支援 |
| 2 | a 能力 | b 職業 | c 合理的な配慮 |
| 3 | a 意思 | b 性別 | c 合理的な配慮 |
| 4 | a 能力 | b 性別 | c 教育上必要な支援 |

第 16 問 次の文は、教育公務員特例法第一条である。文中の（ a ）～（ c ）に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、あとの 1～4 から 1 つ選びなさい。

この法律は、教育を通じて国民全体奉仕する教育公務員の（ a ）とその責任の特殊性に基づき、教育公務員の任免、人事評価、給与、分限、懲戒、（ b ）及び（ c ）等について規定する。

- | | | | | | | |
|---|---|----|---|----|---|----|
| 1 | a | 職務 | b | 服務 | c | 研修 |
| 2 | a | 権利 | b | 服務 | c | 福祉 |
| 3 | a | 権利 | b | 退職 | c | 研修 |
| 4 | a | 職務 | b | 退職 | c | 福祉 |

第 17 問 『『令和の日本型教育』の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）』（令和 3 年 1 月 26 日中央教育審議会）に示されている子供の学びについて誤りを含むものを、次の 1～4 のうちから 1 つ選びなさい。

- 1 現在、G I G A スクール構想により学校の I C T 環境が急速に整備されており、今後はこの新たな I C T 環境を活用するとともに、少人数によるきめ細やかな指導体制の整備を進め、「個に応じた指導」を充実していくことが重要である。
- 2 教師が支援の必要な子供により重点的な指導を行うことなどで効果的な指導を実現することや、子供一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行うことなどの「指導の個別化」が必要である。
- 3 「協働的な学び」においては、「主体的・対話的で深い学び」の実現のために集団の中で子供同士が交流し、個の考えよりも集団で考えを一つにまとめることを重視した学習を展開することが重要である。
- 4 授業の中で「個別最適な学び」の成果を「協働的な学び」に生かし、更にその成果を「個別最適な学び」に還元するなど、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげていくことが重要である。

第 18 問 「不登校児童生徒への支援の在り方について（通知）」（令和元年 10 月 25 日文部科学省）に示されている不登校児童生徒への支援に対する基本的な考え方として**誤りを含むもの**を、次の 1～4 のうちから 1 つ選びなさい。

- 1 不登校児童生徒本人の希望を尊重し、場合によっては関係機関や I C T を活用した学習支援、フリースクール、中学校夜間学級（夜間中学）での受入れなど、社会的自立への支援を行う。
- 2 不登校児童生徒が、主体的に社会的自立や学校復帰に向かうよう、児童生徒自身を見守りつつ、不登校のきっかけや継続理由に応じて、その環境づくりのために適切な支援や働きかけを行う。
- 3 保護者と課題意識を共有して一緒に取り組むという信頼関係を作ることや、訪問型支援による保護者への支援等、保護者が気軽に相談できる体制を整える。
- 4 個人情報の保護の観点から、知り得た情報の共有は、管理職、学級担任、養護教諭等の教職員に限定し、「児童生徒理解・支援シート」を作成することが望ましい。

第 19 問 次の文章は、「大学等及び社会教育における消費者教育の指針」（平成 30 年 7 月 10 日改訂文部科学省）の一部である。文章中の（ a ）～（ c ）に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、あとの 1～4 のうちから 1 つ選びなさい。

消費者教育の推進に関する法律において、「消費者教育は、幼児期から高齢期までの各段階に応じて体系的に行われるとともに、（ a ）その他の消費者の特性に配慮した適切な方法で行わなければならない」とされている。

消費者教育は、（ b ）において行えば十分というものではなく、幼児期から高齢期にわたっての教育が必要である。

（中略）

学校教育においては、児童生徒の発達段階に応じ、消費生活や消費者問題について指導がなされているところであるが、加えて、（ c ）との連携を図りながら、学校教育及び社会教育において消費者教育をさらに推進することが必要である。

- | | | | |
|---|------------|------------|--------------|
| 1 | a 年齢、障害の有無 | b 小・中・高等学校 | c 家庭や地域社会 |
| 2 | a 性別、年齢 | b 小・中学校 | c 地方自治体や地域社会 |
| 3 | a 年齢、障害の有無 | b 小・中・高等学校 | c 地方自治体や地域社会 |
| 4 | a 性別、年齢 | b 小・中学校 | c 家庭や地域社会 |

第 20 問 「教育の情報化に関する手引き（追補版）」（令和 2 年 6 月文部科学省）に示されている内容として誤りを含むものを、次の 1～4 のうちから 1 つ選びなさい。

- 1 情報活用能力は、世の中の様々な事情を情報とその結びつきとしてとらえ、情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用して、問題を発見・解決したり自分の考えを形成したりしていくために必要な資質・能力である。
- 2 情報活用能力を育成することは、将来の予測が難しい社会において、情報を主体的に捉えながら、何が重要かを主体的に考え、見出した情報を活用しながら他者と協働し、新たな価値の創造に挑んでいくために重要である。
- 3 情報技術は人々の生活にますます身近なものになっていくと考えられるが、学校教育の中では、情報を活用する知識と技術を身に付けることは求められていない。
- 4 学校生活の中で I C T を活用する機会が増加し、児童生徒の姿勢や目などの体

調の変化に配慮する取り組みを進めることが重要となっている。

第 21 問 次の表は、学校保健安全施行規則に示されている安全点検の種類についてまとめたものである。表中の（ a ）～（ c ）に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、あとの 1～4 のうちから 1 つ選びなさい。

安全点検の種類	時間・方法等	対象
定期の安全点検	毎（ a ） 1 回以上 計画的に、また教職員全体が組織的に実施	児童生徒等が使用する施設・整備及び防火、防災、犯罪などに関する設備など
	毎（ b ） 1 回以上 計画的に、また教職員全体が組織的に実施	児童生徒等が多く使用されると思われる校地、運動場、教室、特別教室、廊下、昇降口、ベランダ、階段、便所、手洗い場、給食室、屋上など
臨時の安全点検	必要があるとき ・運動会や体育祭、学芸会や文化祭などの学校行事の前後 ・暴風雨、地震、近隣での火災などの災害時 ・近隣で気概の恐れのある犯罪（侵入や放火など）の発生時 など	必要に応じて点検項目を設定
（ c ） の安全点検	毎授業ごと	児童生徒が最も多く活動を行うと思われる場所において

- | | | | |
|---|------|-----|------|
| 1 | a 月 | b 年 | c 日常 |
| 2 | a 学期 | b 月 | c 日常 |
| 3 | a 月 | b 年 | c 緊急 |
| 4 | a 学期 | b 月 | c 緊急 |

第 22 問 「学校の『危機管理マニュアル』等の評価・見直しガイドライン」(令和 3 年 6 月文部科学省) に示されている不審者侵入防止の観点からの安全管理として誤りを含むものを、次の 1～4 のうちから 1 つ選びなさい。

- 1 学校への不審者侵入を防止する上では、①校門、②校舎への入り口、という 2 段階のチェック体制を強化することが重要である。
- 2 不審者侵入防止のチェック体制としては、学校内外の施設整備・器具の安全点検と、校門・校舎入口の施錠管理、来訪者等の管理、校内巡回などがある。
- 3 校門等の施錠管理については、時間帯別・利用者別に利用箇所を限定するとともに、校門等の解錠・施錠時刻やその担当者を定めておくことが大切である。
- 4 来訪者・保護者について、受付場所を明確化すると共に案内の提示等を行うことや、名簿や受付表への記載など、いわゆる入退管理の手順・方法を定めておくことが大切である。

第 23 問 「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進(報告)」(平成 24 年 7 月文部科学省) に示されているインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進の説明として、誤りを含むものを、次の 1～4 のうちから一つ選びなさい。

- 1 障害のある子どもが、その能力や可能性を最大限に伸ばし、自立し社会参加することができるよう、医療、保健、福祉、労働等との連携を強化し、社会全体の様々な機能を生かして、十分な教育が受けられるよう、障害のある子供の教育を充実を図ることができる。
- 2 障害のある子どもが、地域社会の中で積極的に活動し、その一員として、豊かに生きることができるよう、地域の同世代の子どもや人々の交流等を通して、地域での生活基盤を形成することが求められている。
- 3 特別支援教育に関連して、障害者理解を推進することにより、周囲の人々が、障害のある人や子どもと共に学び合い生きる中で、公平性を確保しつつ社会の構成員としての基礎を作っていくことが重要である。
- 4 障害のある子どもと障害のない子どもが共に学ぶ場においては、それぞれの子どもが、充実した時間を過ごしつつ、等しい能力を身に付けられるようにしていくことが重要である。

第 24 問 「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（報告）」（平成 24 年 7 月文部科学省）に示されている特別支援教育を充実させるための教職員の専門性の向上等に関する説明として最も適切なものを、次の 1～4 のうちから 1 つ選びなさい。

- 1 すべての教員は、特別支援教育に関する一定の知識・技能を有していることが求められ、これらの知識・技能はすべて教員養成段階で必ず身に付けておく必要がある
- 2 特別支援学級や通級による指導の担当教員は、その専門性が校内の他の教員に与える影響が極めて大きいため、特別支援教育の専門性のみならずリーダーシップを兼ね備えた人物でなければならない。
- 3 特別支援学級での勤務経験の中で培った専門性は特別支援学校に勤務する上での専門性とは異なる側面があるため、特別支援学校と特別支援学級との間の人事交流は控えることが好ましい。
- 4 すべての教員が多岐にわたる専門性を身に付けることは困難なことから、必要に応じて、外部人材の活用も行い、学校全体としての専門性を確保していくことが必要である。

第 25 問 「児童生徒の教育相談の充実について～学校の教育力を高める組織的な教育相談体制づくり～（報告）」（平成 29 年 1 月文部科学省）におけるスクールカウンセラーの業務の説明として最も適切なものを、次の 1～4 のうちから 1 つ選びなさい。

- 1 生徒・保護者と同様に教職員からの相談を受けることができるが、教職員自身は、学校組織の一員であることから、受けた相談内容は上司である管理職に報告しなければならない。
- 2 教職員や保護者、地域へ向けた研修、講話、講演などを行うことができなければならない、担当できるだけの準備と力量が必要である。
- 3 医療、児童福祉などの心理判定を主たる業務とする専門機関と連携して事例に対応する局面が想定されるので、全ての心理検査についてその結果の見方を知っていなければならない。
- 4 児童・生徒の集団に対して、ストレスチェックなどのスクリーニングのための調査等を行うことができ、調査結果については、守秘義務の観点から学校に報告する必要はない。

令和6年度宮城県・仙台市公立学校教員採用選考試験 正答・配点

解答番号	正答	配点	解答番号	正答	配点	解答番号	正答	配点
No.1	3	4	No.18	4	4	No.35		
No.2	2	4	No.19	1	4	No.36		
No.3	4	4	No.20	3	4	No.37		
No.4	2	4	No.21	2	4	No.38		
No.5	3	4	No.22	1	4	No.39		
No.6	3	4	No.23	4	4			
No.7	1	4	No.24	4	4			
No.8	2	4	No.25	2	4			
No.9	4	4	No.26					
No.10	1	4	No.27					
No.11	3	4	No.28					
No.12	1	4	No.29					
No.13	2	4	No.30					
No.14	4	4	No.31					
No.15	4	4	No.32					
No.16	1	4	No.33					
No.17	3	4	No.34					